

未来の庁舎を考える市民会議からの提案及び
市役所庁舎のあり方検討に関する市民アンケート結果について（報告）

宮津市庁舎のあり方検討に関し、「未来の庁舎を考える市民会議」において様々な視点からの検討、提案を受けるとともに、市民アンケートを実施しましたので、それぞれ結果を報告します。

【未来の庁舎を考える市民会議】

1 会議の目的

庁舎のあり方検討の参考とするため、将来、庁舎を利用することとなる若い世代から、アイデアや意見を提案してもらったもの

2 参加者及び開催日程

24人（高校生、大学生、新社会人等）

コーディネーター：福知山公立大学 杉岡秀紀准教授

第1回 7/23、第2回 8/8、第3回 9/26

3 提案内容

別冊報告書 …………… p.1

第1グループ：「分散型コンパクトシティ」を目指して

第2グループ：未来に課題を残さない 宮津市新庁舎案

第3グループ：庁舎のあり方検討 ～分散型配置とDXの推進の視点から～

第4グループ：人にもまちにも優しい新庁舎 ～未来への投資～

【市役所庁舎あり方検討に関する市民アンケート調査】

1 アンケートの目的

庁舎のあり方検討の参考とするため、基本的事項について市民の意向を調査したもの

2 調査手法等

対象：市民 調査方法：インターネットでのオンラインアンケート

期間：令和4年6月10日～令和4年7月15日

3 調査結果概要

回答数、属性 …………… p.1

Q1 本庁舎の場所について …………… p.2～3

Q2 庁舎の分散・集約について …………… p.4～5

Q3 将来の庁舎に求められる役割や機能について …………… p.6～7

Q4 庁舎のデザイン（意匠）について …………… p.8